



2023年 11.5 第1436号

発行所 松江市袖師町3-6 TEL 0852-24-2444 日本共産党島根県委員会 FAX 0852-24-6369

原発断念・江の川治水・教育...37項目

原発再稼働断念、大規模風力の法整備を

党島根県委 むらほ 衆院1区、地方議員ら8人が政府交渉

日本共産党島根県委員会と党島根県議団は10月25日、国会内で政府交渉し8省庁に37項目の県民要求を申し入れました。むらほえりこ衆院島根1区予定候補と、尾村利成、大國陽介の両県議ら7人の地方議員が参加。仁比聡平参院議員、大平よしのぶ衆院中国ブロック比例予定候補が同席しました。

核燃料サイクル撤退を

島根原発の問題では、経済産業省資源エネルギー庁などに対し、島根原発を含む全ての原発稼働に向けた活動を断念するよう要求。避難計画の実効性の再検証や山口県上関町で中電が計画する使用済み核燃料の中間貯蔵施設建設など核燃料サイクル政策からの撤退を求めました。

資源エネルギー庁の担当者が「安全性の確保を最優先に原発を活用していく」と答えたのに対し、

尾村県議らは「島根原発の稼働に県民合意はな

く、命と安全を守る観点から稼働すべきではない」と反論しました。

大規模風力・住民合意を

県内で相次いでいる大規模風力発電事業計画について、向田聡・安来市議、上代和美・雲南市議らは、地域住民の合意を得ないまま設置が進むことがないよう法整備の必要性を強調。経産省の担当者は「住民の合意と理解が大事」と応じました。

江の川治水・早期実現を

多田伸治・江津市議は早期の治水対策の完了に向け「10年で250億

円」とされている河川改修事業予算の大幅増額と状況を流域住民へ逐次説明するよう要求。また、集団移転で家屋への補償額が示されていない状況があるとし「移転事業の一環として特別な支援を」と要望しました。

食料自給率の向上を

尾村県議らは、島根県内の基幹的農業従事者は約1万4500人(20年度「農業センサス」)と、5年前から約5700人減少していると指摘し「このままでは島根農業が消滅しかねない」と訴えた上で、①中山間地直接支払い交付金、多面的機能直接支払い交付金の要件緩和と予算増額②水田活用直接支払い交付金の維持・拡充などを要請。農水省の担当者は

「必要な予算確保に努めていく」と答えました。子育て教育環境拡充をむらほ氏、舟木健治、橘ふみ両松江市議らは、教員の多忙化を解消し、ゆとりある教育の実現のために「少人数学級をさらに前進させてほしい」と要望。不登校支援

島根2号機再稼働やめよ

中電本社 大平・むらほ予定候補、尾村県議ら

日本共産党の大平よしのぶ、垣内京美の両衆院中国ブロック比例予定候補らは10月20日、広島市の中国電力本社を訪れ、同社が進める使用済み核燃料の中間貯蔵施設建設計画(山口県上関町)の撤回と、島根原発2号機の再稼働断念などを要請しました。

応対した地域共創本部の吉田公武コミュニケーション推進グループマネージャーは中間貯蔵施設の設置について「上関町の地域振興や島根原発の安定稼働」を理由に挙げ「わが国のエネルギー政策にも合致する取り組みだ」と強弁しました。

中電の回答に対し、島根から参加した尾村利成県議は、島根原発2号機再稼働に反対する多くの声も紹介し、「危険な中間貯蔵施設を造ることのどこが地域振興なのか。これ以上使用済み核燃料が出るような原発推進路線はやめるべきだ」と抗議。むらほえりこ衆院島根1

として①子どもの居場所づくり支援②学校以外の学びの場への公的支援③不登校の家庭の相談窓口拡充などを求めました。大國県議は、国の責任での①18歳までの子どもの医療費の無料化②保育士の配置基準の改善を強く要求しました。

大平氏は「核燃料サイクル政策の破綻は明らかだ。今こそ原発のない省エネ・再エネへの転換を」と求めました。

要請には、前日まで「六ヶ所再処理工場」や「リサイクル燃料貯蔵施設」(ともに青森県)を視察した木佐木大助、藤本一規両山口県議、広島、鳥取の衆院小選挙区予定候補らも参加。大平氏が中川賢剛社長宛ての要請書を手渡しました。(写真)

鼓動

厳しい残暑もようやく落ち着いた。スポーツの秋、読書の秋など「〇〇の秋」という言葉はたくさんあるが、秋は「食欲の秋」という人も多いのではないだろうか。なぜ、秋は食欲が旺盛になるのか。その由来は、科学的な見解から、感覚的な見解まで、さまざまな説があると言われている▼「日本人の主食であるお米を始めとして野菜や果物など、多くの食材が旬を迎える時期」「夏の暑さで消化力の落ちた胃腸が回復したところに、魅力的な秋の味覚があるため、その反動で余計に食べてしまう」「寒い冬を乗り切るために栄養を蓄える」などの諸説があるようだ。ただでさえ、食欲が増したところに、秋は行事やイベントも多く、出店などで食べる機会も増えてしまうなど、何かと誘惑も多い▼もちろん、好きなものを好きなだけ食べると、後々、大変なことになるのは言うまでもなく、バランス良く、体のことも考えて食べ方や食べる順番などにも気を配りたい▼たとえば、食事の最初に、レタスやキャベツなど葉物の野菜をよく噛んで食べてから、肉や糖質の多いご飯物を食べるなど、口に入れる順番を工夫するだけでも血糖値の乱高下を防ぐ効果があるそうだ。血糖値の乱高下を防ぐと、ダイエット効果だけでなく、食後の眠気や集中力の低下も抑えられると言われている。昼食の食べ方にも応用ができそうだ▼「食欲の秋」と同時に、やはり「スポーツの秋」や「読書の秋」も並行して、胃袋だけでなく、体も、頭もしっかり満たせるような有意義な秋にしたいと思う。(遠)



申し入れる(前列左から)むらほ、仁比、大平の各氏ら(国会内)



省庁の担当者(手前)に実情を訴え、要請する参加者(国会内)

